

交通安全を願います

21日、22日と安平町老人クラブ友の会（会長 山木勉さん）の皆さんが、豊栄会館で交通安全を願うしめ縄作りを行いました。

毎年恒例となったこの活動は今年で27回目。手作りした250個のしめ縄は、12月9日に国道弥生パーキングエリアで行う交通安全啓発運動で配布します。山木会長は活動について「思いを込めて作った。交通安全の役に立てば」と交通安全を願いました。



役場ってどんな場所？

24日、早来小学校2年生（27名）が校外授業「まちはたからばこ」で役場早来庁舎を訪問。役場の仕事について勉強しました。

児童たちは、グループに分かれ「役場はどんな場所？どんなお仕事しているの？」と用意してきた色々な質問を職員に投げかけ、一生懸命メモに書き留めていました。

普段来ることがないであろう役場について、ちよつと詳しくなった児童たちでした。



綺麗な焼き目に歓声も

24日、高齢者大学が農作物加工研究センターで行われ、パン作りを体験しました。

3つの班に分かれパンの成形に挑戦。講師の先生の手つきを真似てみたもののうまくいかず。それでも皆さん楽しそうにパン作りをしていました。

焼きの工程になると、オーブンから香ばしい美味しそうな香り。扉を開けると見事な焼き目に味も良しと満足の1日になったようです。



13メガワットの太陽光発電システムが完成

食料品販売・飲食、中食・環境エネルギー開発を展開するパスポート社（本社・川崎市）が、早来富岡のゴルフ場跡地に建設していた太陽光発電システムが完成。「アグリソーラー安平」と名付けられた同施設での最大出力は約13メガワットで、町内では2番目の規模を誇る施設です。

瀧町長は「遊休地となっていた土地がソーラー発電所として再興できたことは大変喜ばしい」と話していました。



花園町内会で防災備品を整備

花園町内会では、平成26年7月に自主防災組織を設立し、さらなる活動強化の一環として、今年度、「防災用備品及び保管庫整備事業」により防災倉庫、発電機、投光機、ガソリン携行缶などを整備。8月には、備品の操作説明会を実施し、防災用品の使用方法について学びました。

この事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、一般財団法人自治総合センターが行う「コミュニケーション助成事業」という宝くじの助成金で実施されたものです。

